異常な行動

	識別番号	年齢数値	年齢単位	性別	PT名称	タミフル服用時刻		異常な行動発現時刻		就寝中か否か（就寝中：○、就寝中じゃない：×）	覚醒直後に発現	就寝中の場合、就眠時刻から発現までの時間	回復までの時間	一眠りして完全回復	体温	患者の記憶	睡眠驚愕症等の既往	睡眠驚愕症等の家族歴	光に対する反応	他剤による「異常な行動」の副作用歴	異常な行動に関する既往歴	異常な行動の具体的な詳細（例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、親が幻覚を見ていたようだと言っているのか？）	旧資料No
181	B05017753	14	年	女性	譫妄	2005/2/28 2005/3/1 2005/3/1	夕 朝 夕	①2005/3/2 ②2005/3/4	①朝 ②—	—	No	—	No	No	解熱過程	—	No	No	No	No	無	①朝より「外から誰かが見てる」「家の中に知らない人がいる」夕食でサラダを出すと「毒が入っている」などの幻覚や被害妄想出現。寒いのに家中の窓を全て全開にしてまわるなどの異常行動あり、落ち着きがなく家中うろうろするため母親が他院に連れていった。小児精神科などいろいろな科を回され精神安定剤の注射をされ、せん妄と診断された。 ②少し落ち着いたが「死にたい」「お母さん私のこと殺すんでしょう」などの自殺念慮発言あり。	異-1-31
182	B05022381	14	年	男性	①錯乱状態 ②落ち着きのなさ	2004/1/26 2004/1/26	朝 不明	2004/1/26	昼間	—	No	—	—	Yes	発熱持続	No	No	No	No	Yes	無	1カプセル服用後「2匹の鬼に追いかけられる」といって窓に向かって走り出した（マンションの9階）。錯乱、不穏発現。ガラスは鍵がかけてあり、事故にはならなかったが、両親二人がかりで押さえなければならない程の力で暴れた様子。	異-1-43
183	B05024748	14	年	男性	異常行動	2006/2/18	夕方	2006/2/18	24:00	○	—	3時間	約1.5時間	No	発熱持続	Yes	No	No	No	No	無	2006/2/17　インフルエンザ発症。 2006/2/18　インフルエンザA型と診断。タミフル75mg/日投与。(21:00)自室で休んでいた。(0:00)2階より飛び降り、両足骨折。異常行動、両足骨折発現。 2006/2/19　(1:40)自宅近くのコンビニエンスストアにパジャマで裸足のままでいるところを警察に保護される。(2:30)当院救急外来へ搬送。右踵骨骨折、左第5指中足骨骨折、両足部外傷性皮膚欠損あり。自宅窓は開いておりこの下のコンクリート部からコンビニエンスストアにかけて血痕が認められていた。ヴィーンDで輸液開始。なお当院搬送時は意識状態は問題なし。異常行動回復。(4:00)髄液検査施行。頭部CT実施。結果：骨折なし。頭蓋内に急性期外傷性変化なし。明らかな浮腫や脳症を疑う所見を認めない。 2006/2/21　脳波検査実施。異常所見なし。 2006/2/22　頭部MRI実施。結果：明らかな異常所見は認められない。脳実質に信号の異常なし。拡散強調画像で有意な高信号なし。impression：異常を認めず。 2006/2/23　インフルエンザ軽快。退院。	異-1-60
184	B05024963	14	年	男性	①悪心 ②異常行動 ②意識レベルの低下	2006/2/13 2006/2/14	夕 朝	①2006/2/13 ②2006/2/14	①— ②4時間後	×	No	—	—	—	発熱持続	—	No	—	—	No	無	2006/2/13　インフルエンザA型のため、タミフル75mgx2/日投与開始。 本剤内服後、少し変なことを言っていったがすぐに治まったので家で様子を見ていた。意識障害（軽度）発現。吐気もあった(重篤度不明)。 2006/2/14　朝本剤内服後、4時間ほどして服を脱いで突然家の外へ飛び出したところ、家族が気づいて連れ戻すエピソードがあった。その後もいつもできるようなことができない、わからないということが少し続いた。行動障害（重度？）発現。(10:30)家族より今は落ち着いているようだという連絡があり。総合病院を受診するように指示した。 2006/2/15　(夜)家に電話して様子を尋ねたところ、総合病院を受診して血液検査と脳MRIを撮影したが、今は落ち着いている。入院はせず。 2006/2/24　家に電話して様子を尋ねたところ、総合病院の検査はいずれも異常なしとのこと。現在に特に異常なし。コカール200mgを合計4錠内服していたことが判明。インフルエンザ軽快・回復。	異-1-65
185	B05025213	14	年	女性	異常行動	2006/1/21	10:30 20:00	2006/1/21	12:00 22:30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無	2006/1/21　インフルエンザA型と診断。タミフル75mg×2回/日投与開始(他院にて処方)。(10:30)タミフル75mg内服。(12:00)トイレでいきんだ後、白目を向いた感じになった(30秒くらい)。その後救急受診。受診時、異常ないため一旦帰宅。 (20:00)本剤75mg内服。(22:30)突然起きあがり「母ちゃんごめんなさい」などと意味不明な発言がみられ、救急受診。受診時に受け答えは正常にできたが、点滴後もフラフラするというため、経過観察のため翌日入院することとした。 2006/1/22　解熱し、インフルエンザ軽快。その後、精神状態等も正常であった。 2006/1/24　後日外来で脳波検査予定として、退院。	異-1-67
186	B05025476	14	年	男性	①異常行動 ②意識レベルの低下 ③痙攣	不明	不明	—	—	—	No	—	15分	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	不明	不明　インフルエンザウイルスは陰性だったが、家族に陽性の患者がいたためタミフル投与開始。(75mg×2/日　～2日間) 不明　異常行動、意識障害、痙攣発現。髄液検査にて細胞数上昇。	異-1-69
187	B05025583	14	年	男性	異常行動	2006/2/20 2006/2/21 2006/2/22 2006/2/23 2006/2/24 2006/2/25	夕 朝夕 朝夕 朝夕 朝夕 朝夕	2006/2/20	11:00	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無	2006/2/19　発熱あり。 2006/2/20　(午前中)インフルエンザA型と診断。タミフル75mg×2回/日処方し、ただちに1cap服用。 (11:00頃)2階に寝ていたが、突然階段をどたどたかけ降り、学校へ行かなくちゃと言ってかばんを背負って外へ飛び出そうとした。丁度家人が居り、当人を取り押さえ、今日は学校に行かなくても良いと言って落ち着かせた。異常行動発現。異常行動の持続時間：不明。 (12:00頃)症状軽快。その後も本剤は処方どおり服用。特に変わったことはなかった。後で本人に確認したところ記憶が全くないとのことだった。家族は発熱によるものと考え特に処置はしなかった。 2006/2/25　インフルエンザ軽快し、本剤は朝内服後終了。	異-1-71
188	B05025723	14	年	男性	①異常行動 ②激越 ③錯乱状態 ④健忘	2006/2/5	夜間	2006/2/5	①未記載 ②夜間2時間毎 ③夜間 ④夜間	—	No	—	No	Yes	発熱持続	No	Yes	—	No	No	睡眠驚愕	小児時　本剤服用にて異常行動（重篤度不明）発現。異常行動回復。 2006/1/7　39.1℃の発熱にて当院受診。インフルエンザ抗原検査ではA/Bともに陰性であったが、症状的にインフルエンザが強く疑われたため、シンメトレル2T/日投与。その際は高熱にも関わらず、興奮状態などの訴えはなかった。 2006/2/5　日中発熱にて休日当番医受診。A型インフルエンザと診断され、本剤(75mg)2cap/日、5日間処方。夜間本剤服用後、興奮状態になり家の中を大声を出して動き回った。家族が抱きかかえるように抑えつけないといけない状況だった。2時間毎にこのような興奮状態が出現した。興奮、錯乱状態、健忘症発現。 2006/2/6　正確な時間はわからないが、寝入って状態的に落ち着いた。本人は全く覚えてないとの事。興奮、錯乱状態、健忘症回復。当院受診。母親の話を聞き、本人は全く覚えておらず、37.4℃まで熱は下がっていたので、本剤服用を中止し様子をみるように指示。その後の連絡は無し。	異-1-78